

ホールの適正配置を検討するにあたっては、交通ネットワークの充足状況など各ホールへのアクセス性が重要な要素となることから、利用者の居住エリアが判明しているホールについて居住エリアの状況を分析した。

また、現在の各ホールの利用状況と類似した利用を行っている施設との位置関係についても分析を行った。

なお、分析にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が出ていない平成30年度データを用いた。



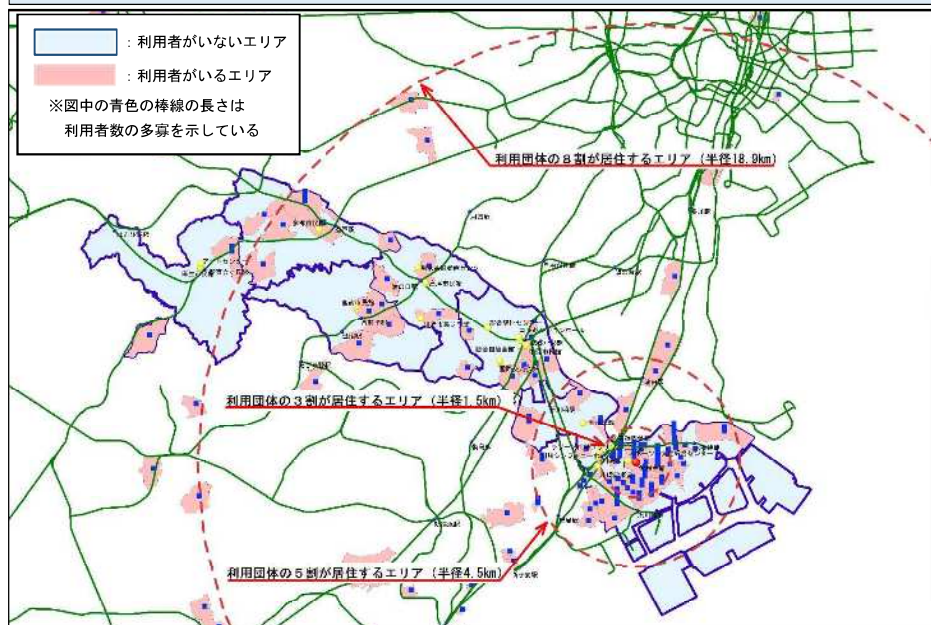
※以下の利用データ分析は、平成30年度のふれあいネットデータを基に実施しており、施設利用後の補正情報の入力の有無等により、実際の利用状況とは異なる場合がある。
 ※以下の利用データ分析における利用団体が居住するエリアの範囲（同心円の半径）は、同心円と居住する町丁目エリアが重なる最小の半径の距離（100m単位）としている。
 ※以下の利用データ分析におけるホールの所在地はホールが属する建物の中心位置とみなしているため、実際の距離とは異なる場合がある。

1. 労働会館

●利用者の5割は当該ホールから半径4.5km圏内の居住している。利用者の約40%は川崎区に居住しており、地域での利用が多いことが窺える。

なお、隣接する横浜市鶴見区の居住者も一定程度(10団体)利用している。

●当該ホールの半径2km圏内に本市の公共ホールが5箇所立地しており、その内、労働会館の利用用途上位である「楽器演奏・合唱」や「会議・研修・講演会等」が同程度の料金(時間当たり2,500円前後)で利用が可能な施設として、産業振興会館とラゾーナ川崎プラザソルが想定される。



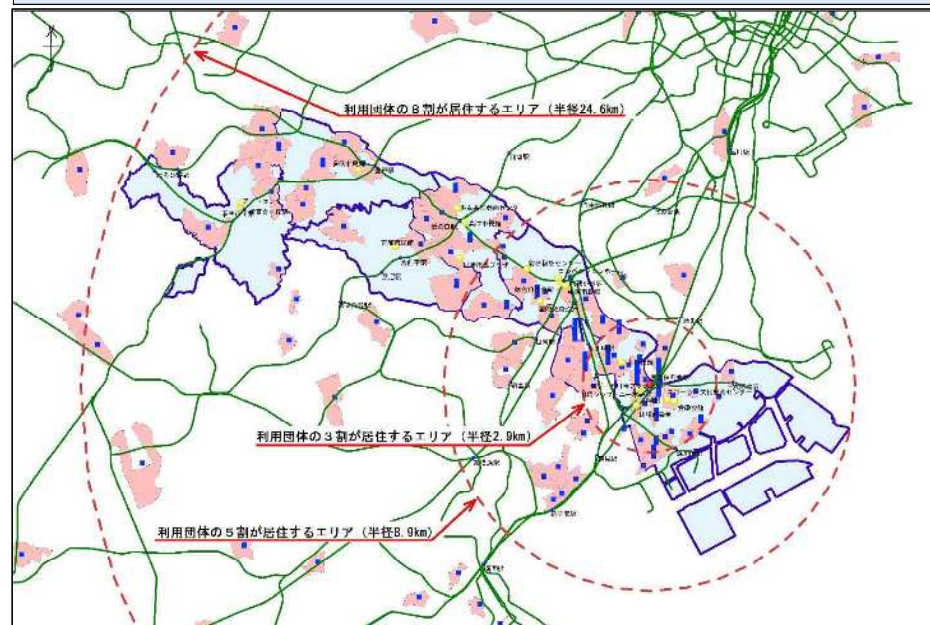
利用者の居住エリア	利用者全体に占める割合	周辺の本市公共ホール (当該ホールから近い順)	当該ホール からの距離
川崎市	61.1% (99団体)	スポーツ・文化総合センター	330m
川崎区	(40.7% (66団体))	産業振興会館	1,280m
幸区	(3.7% (6団体))	ラゾーナ川崎プラザソル	1,600m
中原区	(4.9% (8団体))	川崎能楽堂	1,650m
高津区	(2.5% (4団体))	川崎シンフォニーホール	1,660m
宮前区	(2.5% (4団体))	幸市民館	2,850m
多摩区	(4.9% (8団体))	中原市民館	6,900m
麻生区	(1.9% (3団体))		
横浜市	19.1% (31団体)		
相模原市	1.2% (2団体)		
東京23区	7.4% (12団体)		
その他	11.1% (18団体)		

2. 産業振興会館

●利用者の5割の居住圏域は、当該ホールから半径8.9kmと広く、他ホールと比して利用者の居住エリアの分布が広い。立地する川崎区の利用者がやや多いが突出したのではなく、市域のみならず、隣接他都市の居住者を含めて広く利用されていることが窺える。

なお、隣接する横浜市鶴見区の居住者も一定程度(8団体)利用している。

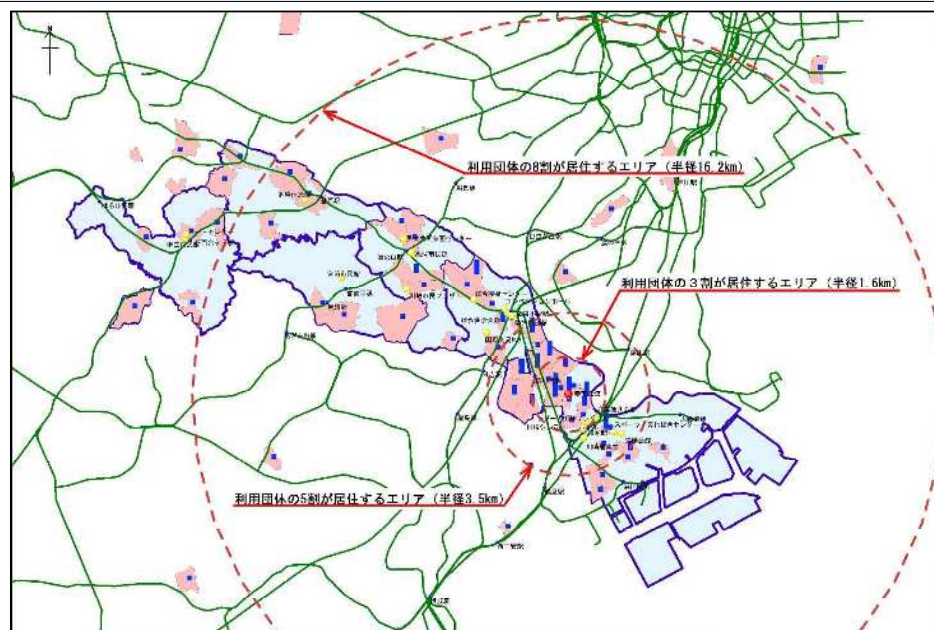
●当該ホールの半径2km圏内に本市の公共ホールが6箇所立地しており、その内、産業振興会館の利用用途上位である「会議・研修・講演会等」や「楽器演奏・合唱」が同程度の料金(時間当たり2,500円前後)で利用が可能な施設として、労働会館とラゾーナ川崎プラザソルが想定される。



利用者の居住エリア	利用者全体に占める割合	周辺の本市公共ホール (当該ホールから近い順)	当該ホール からの距離
川崎市	52.3% (104団体)	ラゾーナ川崎プラザソル	500m
川崎区	(16.1% (32団体))	川崎シンフォニーホール	750m
幸区	(16.1% (32団体))	スポーツ・文化総合センター	980m
中原区	(6.5% (13団体))	川崎能楽堂	1,040m
高津区	(5.5% (11団体))	労働会館	1,280m
宮前区	(2.0% (4団体))	幸市民館	1,570m
多摩区	(4.0% (8団体))	中原市民館	5,680m
麻生区	(2.0% (4団体))		
横浜市	16.6% (33団体)		
相模原市	1.0% (2団体)		
東京23区	9.5% (19団体)		
その他	20.6% (41団体)		

3. 幸市民館

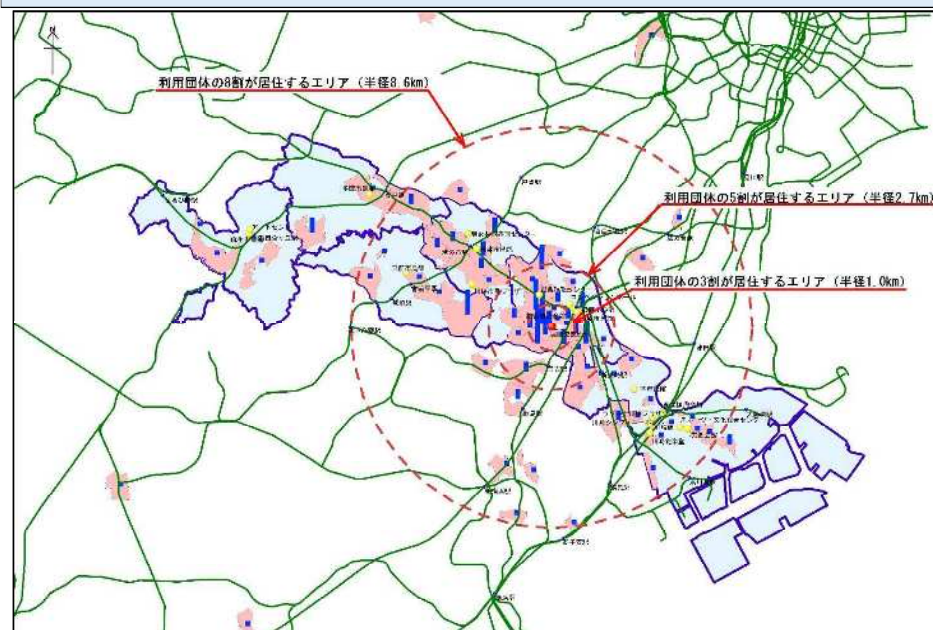
- 利用者の5割は当該ホールから半径3.5km圏内に居住している。利用者の約30%は幸区に居住し、利用者の約60%は幸区と隣接区（川崎・中原）の居住者であることから、地域での利用および隣接区の居住者の利用が多いことが窺える。
- 当該ホールの半径2km圏内に本市の公共ホールが4箇所立地しており、その内、幸市民館の利用用途上位である「楽器演奏・合唱」や「会議・研修・講演会等」と同程度の料金（時間当たり2,500円前後）で利用可能な施設として、産業振興会館とラゾーナ川崎プラザソルが想定される。



利用者の居住エリア	利用者全体に占める割合	周辺の本市公共ホール (当該ホールから近い順)	当該ホール からの距離
川崎市	77.1% (81団体)	ラゾーナ川崎プラザソル	1,420m
川崎区	(13.3% (14団体))	産業振興会館	1,570m
幸区	(30.5% (32団体))	川崎シンフォニーホール	1,620m
中原区	(15.2% (16団体))	川崎能楽堂	1,980m
高津区	(5.7% (6団体))	スポーツ・文化総合センター	2,550m
宮前区	(2.9% (3団体))	労働会館	2,850m
多摩区	(4.8% (5団体))	中原市民館	4,150m
麻生区	(4.8% (5団体))	総合自治会館	4,390m
横浜市	6.7% (7団体)	国際交流センター	4,440m
相模原市	1.0% (1団体)	コンベンションホール	4,600m
東京23区	6.7% (7団体)		
その他	8.6% (9団体)		

4. 国際交流センター

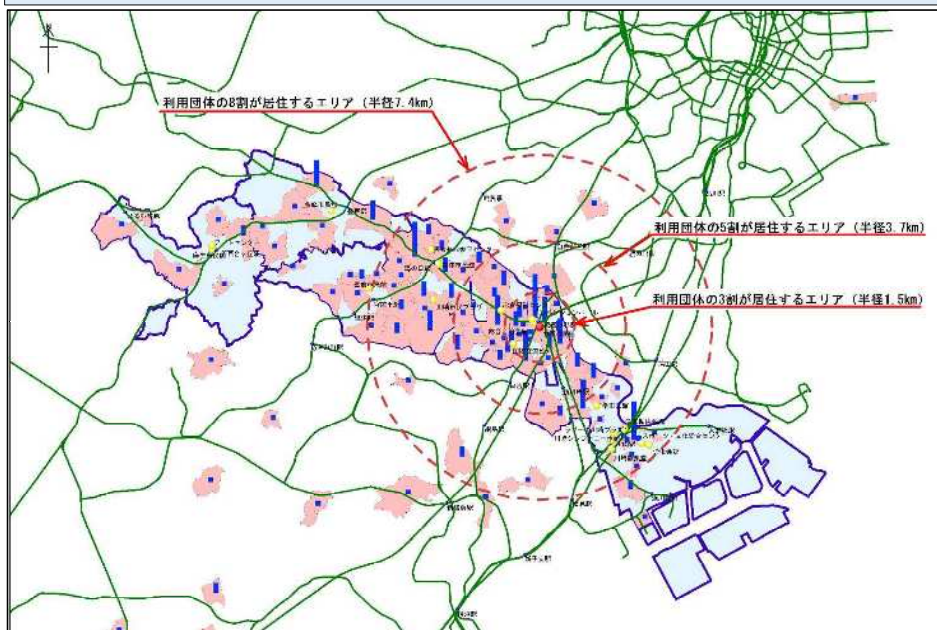
- 利用者の5割は当該ホールから半径2.7km圏内の居住している。利用者の約40%は中原区に居住しており、地域での利用が多いことが窺える。
- 当該ホールの半径2km圏内に本市の公共ホールが4箇所立地しており、その内、国際交流センターの利用用途上位である「楽器演奏・合唱」や「ダンス」、「会議・研修・講演会等」が比較的安価な利用料（時間当たり2,500円程度以下）で利用可能な施設として、総合自治会館（練習のみ）や中原市民館が想定される。



利用者の居住エリア	利用者全体に占める割合	周辺の本市公共ホール (当該ホールから近い順)	当該ホール からの距離
川崎市	74.8% (113団体)	総合自治会館	1,240m
川崎区	(6.0% (9団体))	コンベンションホール	1,280m
幸区	(4.6% (7団体))	中原市民館	1,310m
中原区	(39.7% (60団体))	総合福祉センター	1,510m
高津区	(12.6% (19団体))	川崎市民プラザ	3,910m
宮前区	(6.0% (9団体))	幸市民館	4,440m
多摩区	(4.0% (6団体))	高津市民館	4,690m
麻生区	(2.0% (3団体))		
横浜市	12.6% (19団体)		
相模原市	0.0% (0団体)		
東京23区	5.3% (8団体)		
その他	7.3% (11団体)		

5. 中原市民館

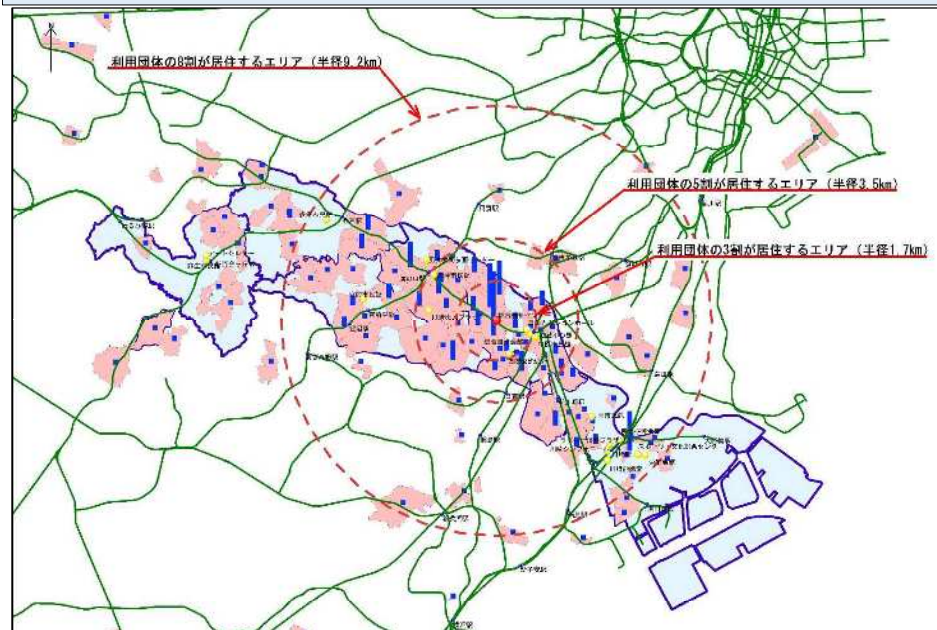
- 利用者の5割は当該ホールから半径3.7km圏内に居住している。利用者の約30%は中原区に居住しているが、川崎区、幸区、高津区、宮前区の居住者も一定程度利用していることから、**地域での利用が中心であるものの、他の市民館と比して市域全体での利用が多い**ことが窺える。
- 当該ホールの半径2km圏内に本市の公共ホールが4箇所立地しており、その内、**中原市民館の利用用途上位である「ダンス」や「楽器演奏・合唱」、「会議・研修・講演会等」が比較的安価な利用料（時間当たり2,500円程度以下）で利用可能な施設として、総合自治会館や国際交流センターが想定**される。



利用者の居住エリア	利用者全体に占める割合	周辺の本市公共ホール (当該ホールから近い順)	当該ホール からの距離
川崎市	85.6% (172団体)	総合自治会館	250m
川崎区	(9.0% (18団体))	コンベンションホール	450m
幸区	(8.0% (16団体))	国際交流センター	1,310m
中原区	(33.8% (68団体))	総合福祉センター	1,800m
高津区	(16.4% (33団体))	幸市民館	4,150m
宮前区	(9.0% (18団体))	川崎市民プラザ	4,700m
多摩区	(6.5% (13団体))		
麻生区	(3.0% (6団体))		
横浜市	8.0% (16団体)		
相模原市	0.0% (0団体)		
東京23区	3.5% (7団体)		
その他	3.0% (6団体)		

6. 総合福祉センター（エポック中原）

- 利用者の5割は当該ホールから半径3.5km圏内に居住している。利用者の約30%は中原区に居住しているが、隣接する高津区や川崎区の居住者も一定程度利用していることから、**地域での利用が中心であるものの、他のホールと比して市域全体での利用が多い**ことが窺える。
- 当該ホールの半径2km圏内に本市の公共ホールが4箇所立地しており、その内、**総合福祉センターの利用用途上位である「楽器演奏・合唱」、「会議・研修・講演会等」、「バレエ」が、同程度の料金（時間当たり3,000円前後）以下で利用が可能な施設として、国際交流センター、総合自治会館、中原市民館が想定**される（いずれも空間上の制約があるとともに、国際交流センターは一部楽器利用に制限がある場合がある）。



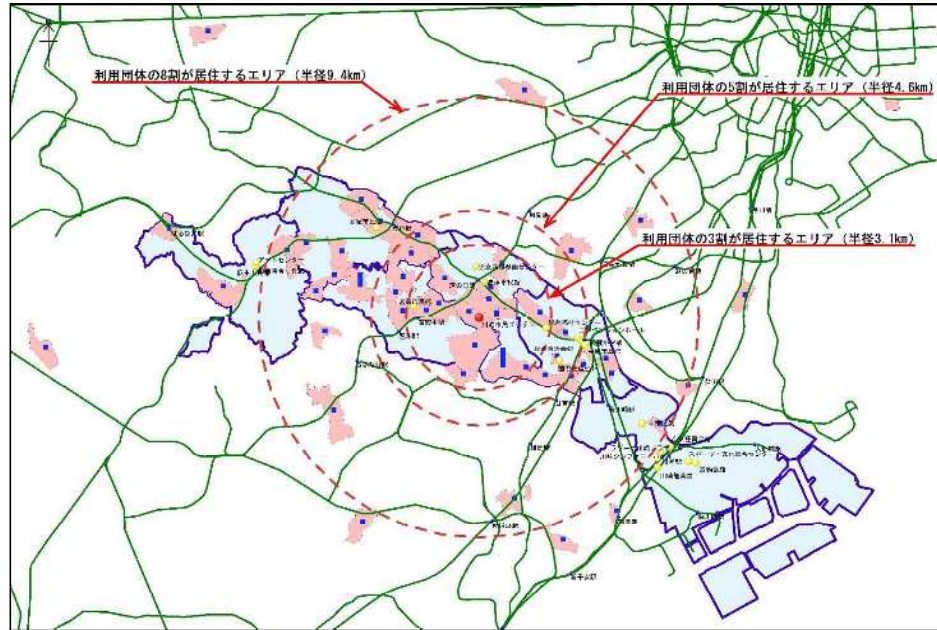
利用者の居住エリア	利用者全体に占める割合	周辺の本市公共ホール (当該ホールから近い順)	当該ホール からの距離
川崎市	77.4% (164団体)	コンベンションホール	1,400m
川崎区	(8.0% (17団体))	国際交流センター	1,510m
幸区	(6.1% (13団体))	総合自治会館	1,560m
中原区	(32.5% (69団体))	中原市民館	1,800m
高津区	(15.1% (32団体))	川崎市民プラザ	2,930m
宮前区	(6.6% (14団体))	高津市民館	3,350m
多摩区	(5.7% (12団体))	男女共同参画センター	3,980m
麻生区	(3.3% (7団体))	宮前市民館	5,760m
横浜市	8.0% (17団体)	幸市民館	5,780m
相模原市	0.9% (2団体)		
東京23区	5.7% (12団体)		
その他	8.0% (17団体)		

7. 川崎市民プラザ

●利用者の5割は当該ホールから半径4.6km圏内に居住している。突出して利用者が多い居住エリアはないものの、利用者の約60%は立地する高津区と隣接区（中原・宮前・多摩）の居住者であることから、**地域および隣接区の居住者の利用が多いことが窺える。**

なお、東京都区部や横浜市の居住者も一定程度利用している。

●当該ホールの半径2km圏内に立地する本市の公共ホールは1施設（高津市民館）であり、**近接する高津市民館においても、川崎市民プラザの利用用途上位である「楽器演奏・合唱」が、同程度の料金（時間当たり3,000円前後）以下で利用が可能である（空間上の制約はある）。**

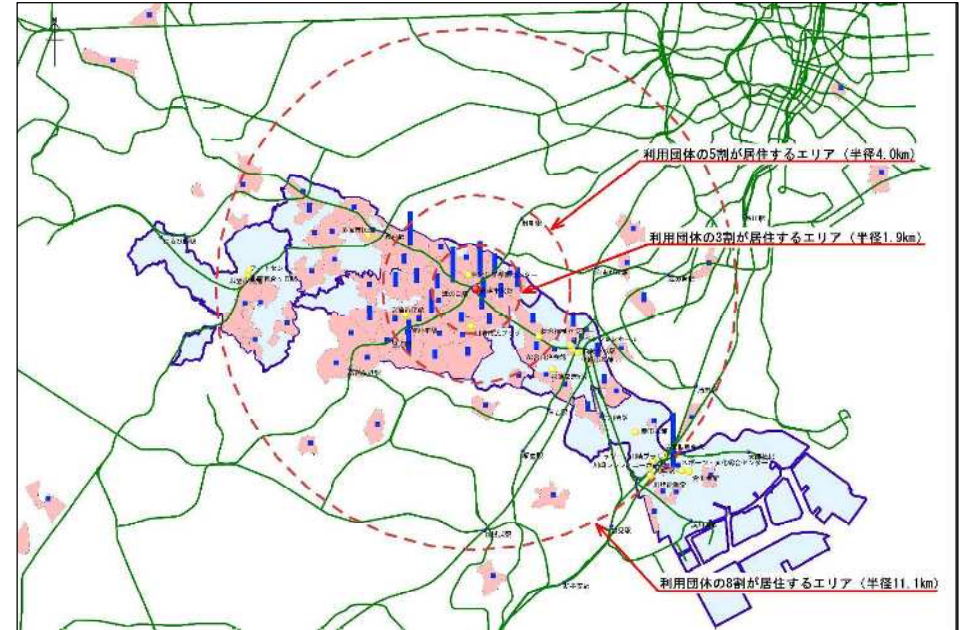


利用者の居住エリア	利用者全体に占める割合	周辺の本市公共ホール (当該ホールから近い順)	当該ホール からの距離
川崎市	66.1% (41団体)	高津市民館	1,560m
川崎区	(0.0% (0団体))	男女共同参画センター	2,170m
幸区	(1.6% (1団体))	宮前市民館	2,830m
中原区	(14.5% (9団体))	総合福祉センター	2,930m
高津区	(17.7% (11団体))	国際交流センター	3,910m
宮前区	(16.1% (10団体))	コンベンションホール	4,320m
多摩区	(11.3% (7団体))	総合自治会館	4,470m
麻生区	(4.8% (3団体))	中原市民館	4,700m
横浜市	16.1% (10団体)		
相模原市	1.6% (1団体)		
東京23区	14.5% (9団体)		
その他	1.0% (1団体)		

8. 高津市民館

●利用者の5割は当該ホールから半径4.0km圏内に居住している。立地する高津区の利用者がやや多いが突出したものではなく、**他の市民館ホールと比べて、市域全体での利用が多いことが窺える。**

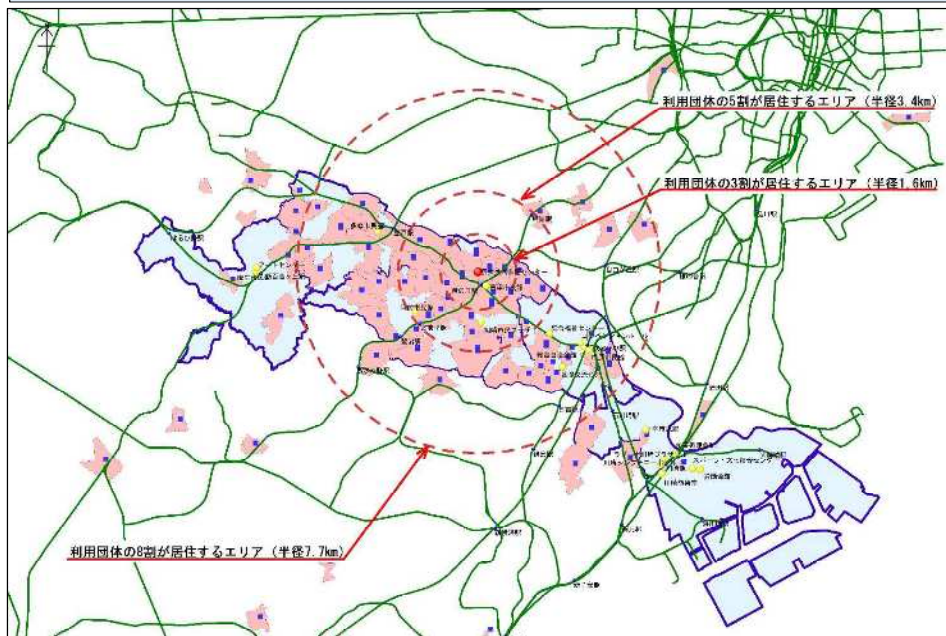
●当該ホールの半径2km圏内に立地する本市の公共ホールは2施設であり、**いずれの施設（男女共同参画センター、川崎市民プラザ）も、高津市民館の利用用途上位である「楽器演奏・合唱」や「会議・研修・講演会等」が、同程度の料金（時間当たり3,000円前後）以下で利用が可能である（他施設に比して、川崎市民プラザの利用料金が若干高い）。**



利用者の居住エリア	利用者全体に占める割合	周辺の本市公共ホール (当該ホールから近い順)	当該ホール からの距離
川崎市	79.9% (139団体)	男女共同参画センター	700m
川崎区	(10.3% (18団体))	川崎市民プラザ	1,560m
幸区	(2.3% (4団体))	宮前市民館	3,180m
中原区	(10.3% (18団体))	総合福祉センター	3,350m
高津区	(25.3% (44団体))	コンベンションホール	4,680m
宮前区	(18.4% (32団体))	国際交流センター	4,690m
多摩区	(10.9% (19団体))	総合自治会館	4,870m
麻生区	(2.3% (4団体))	多摩市民館	5,140m
横浜市	6.3% (11団体)		
相模原市	1.1% (2団体)		
東京23区	6.3% (11団体)		
その他	6.3% (11団体)		

9. 男女共同参画センター（すくらむ21）

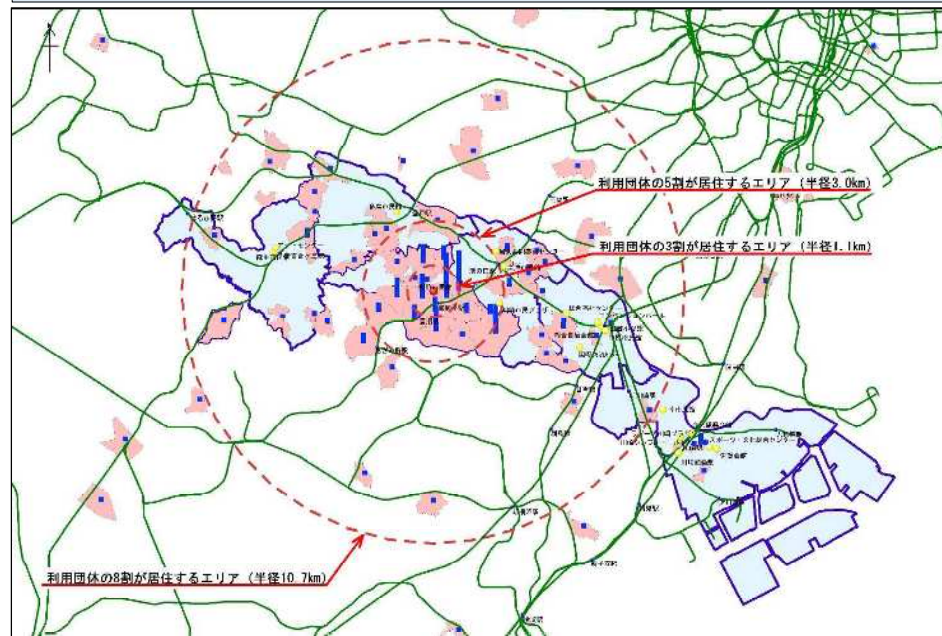
- 利用者の5割は当該ホールから半径3.4km圏内に居住している。利用者の約40%弱は高津区に居住し、利用者の約80%弱は高津区と隣接区（中原・宮前・多摩）の居住者であることから、**地域での利用および隣接区の居住者の利用が多い**ことが窺える。
- 当該ホールの半径2km圏内に立地する本市の公共ホールは1施設（高津市民館）であるが、高津市民館は、男女共同参画センターの利用用途上位である「楽器演奏・合唱」や「太鼓」についても利用が可能ではあるものの、一定の制限（大音量の電子楽器や太鼓など振動音の影響が及ぶ会議室の予約をあわせて行う必要）がある。



利用者の居住エリア	利用者全体に占める割合	周辺の本市公共ホール (当該ホールから近い順)	当該ホール からの距離
川崎市	80.4% (111団体)	高津市民館	700m
川崎区	(0.7% (1団体))	川崎市民プラザ	2,170m
幸区	(1.4% (2団体))	宮前市民館	3,160m
中原区	(13.0% (18団体))	総合福祉センター	3,980m
高津区	(35.5% (49団体))	多摩市民館	4,580m
宮前区	(14.5% (20団体))	コンベンションホール	5,290m
多摩区	(12.3% (17団体))	国際交流センター	5,370m
麻生区	(2.9% (4団体))	総合自治会館	5,490m
横浜市	8.0% (11団体)	中原市民館	5,730m
相模原市	0.7% (1団体)		
東京23区	5.1% (7団体)		
その他	5.8% (8団体)		

10. 宮前市民館

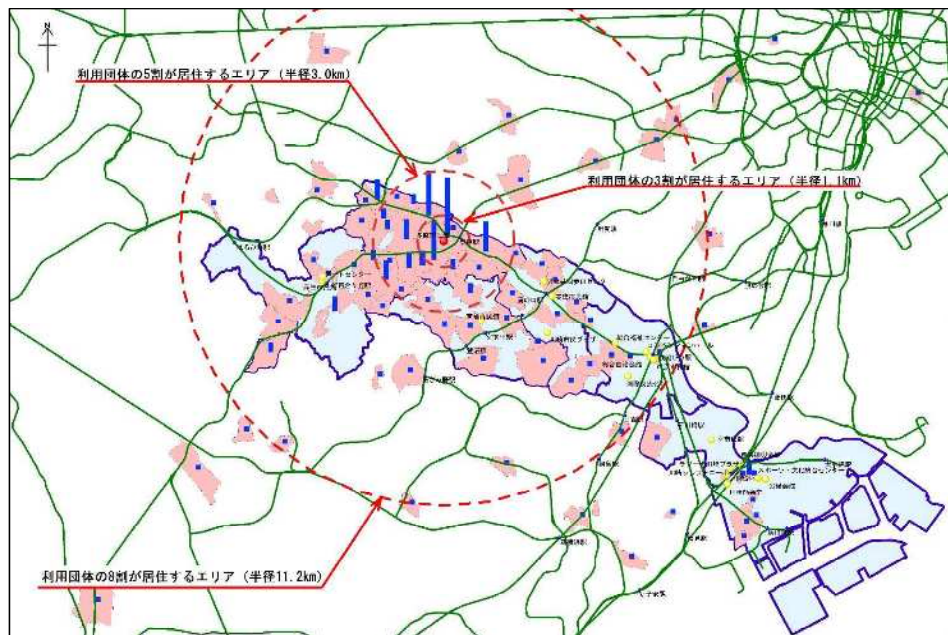
- 利用者の5割は当該ホールから半径3.0km圏内に居住している。利用者の約40%は宮前区に居住しており、**地域での利用が多い**ことが窺える。
- 当該ホールの半径2km圏内に立地する本市の公共ホールはないため、鷺沼駅周辺への移転後においても、引き続き新たな市民館として、**利用状況を踏まえながら、宮前区エリア内において市民に利用機会の提供を行う必要がある**ものと考えられる。



利用者の居住エリア	利用者全体に占める割合	周辺の本市公共ホール (当該ホールから近い順)	当該ホール からの距離
川崎市	71.8% (94団体)	川崎市民プラザ	2,830m
川崎区	(3.8% (5団体))	男女共同参画センター	3,160m
幸区	(1.5% (2団体))	高津市民館	3,180m
中原区	(4.6% (6団体))	多摩市民館	3,720m
高津区	(7.6% (10団体))	総合福祉センター	5,760m
宮前区	(44.3% (58団体))	国際交流センター	6,650m
多摩区	(4.6% (6団体))		
麻生区	(5.3% (7団体))		
横浜市	12.2% (16団体)		
相模原市	0.8% (1団体)		
東京23区	6.9% (9団体)		
その他	8.4% (11団体)		

1.1. 多摩市民館

- 利用者の5割は当該ホールから半径3.4km圏内に居住している。利用者の約50%強は多摩区に居住しており、地域での利用が多いことが窺える。
- 当該ホールの半径2km圏内に立地する本市の公共ホールはないため、引き続き、利用状況を踏まえながら、多摩区エリア内において市民に利用機会の提供を行う必要があるものと考えられる。

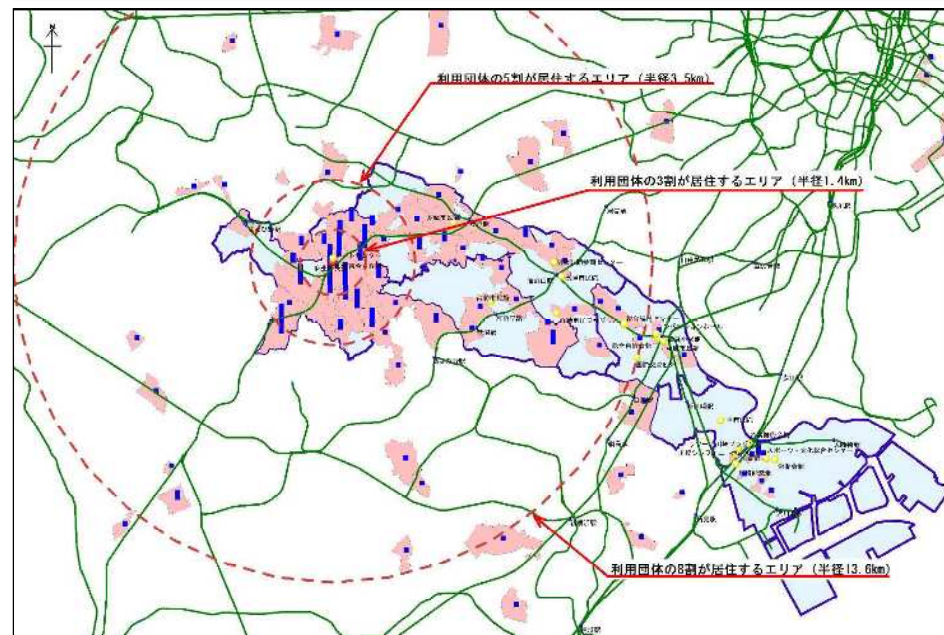


利用者の居住エリア	利用者全体に占める割合
川崎市	75.8% (113団体)
川崎区	(6.0% (9団体))
幸区	(1.3% (2団体))
中原区	(2.7% (4団体))
高津区	(4.7% (7団体))
宮前区	(6.7% (10団体))
多摩区	(47.7% (71団体))
麻生区	(6.7% (10団体))
横浜市	8.1% (12団体)
相模原市	1.3% (2団体)
東京23区	7.4% (11団体)
その他	7.4% (11団体)

周辺の本市公共ホール (当該ホールから近い順)	当該ホールからの距離
宮前市民館	3,720m
男女共同参画センター	4,580m
高津市民館	5,140m
アートセンター	5,340m
麻生市民館	5,430m
川崎市民プラザ	5,820m
総合福祉センター	8,440m

1.2. 麻生市民館

- 利用者の5割は当該ホールから半径3.5km圏内に居住している。利用者の約40%強は麻生区に居住しており、地域での利用が多いことが窺える。
- 当該ホールの半径2km圏内に立地する本市の公共ホールとしてはアートセンターが1施設あるが、麻生市民館の利用用途上位である「楽器演奏・合唱」や「会議・研修・講習会等」が同程度の料金で利用が可能な施設ではないため、引き続き、利用状況を踏まえながら、麻生区エリア内において市民に利用機会の提供を行う必要があるものと考えられる。

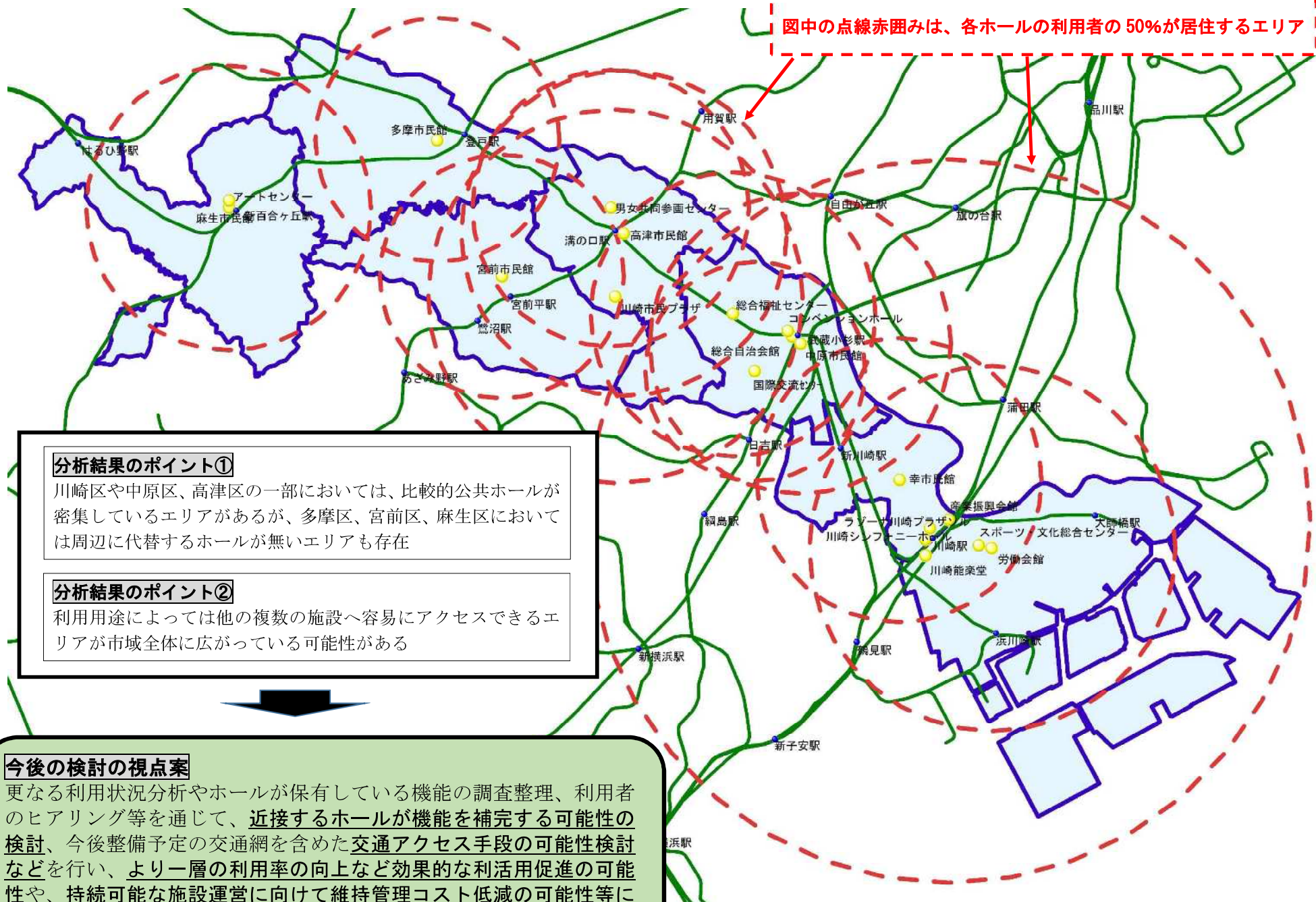


利用者の居住エリア	利用者全体に占める割合
川崎市	68.3% (110団体)
川崎区	(5.0% (8団体))
幸区	(0.6% (1団体))
中原区	(3.1% (5団体))
高津区	(2.5% (4団体))
宮前区	(5.6% (9団体))
多摩区	(8.7% (14団体))
麻生区	(42.9% (69団体))
横浜市	10.6% (17団体)
相模原市	3.7% (6団体)
東京23区	4.3% (7団体)
その他	13.0% (21団体)

周辺の本市公共ホール (当該ホールから近い順)	当該ホールからの距離
アートセンター	180m
多摩市民館	5,410m
宮前市民館	6,930m
男女共同参画センター	9,400m
高津市民館	9,750m
川崎市民プラザ	9,750m

現状分析を踏まえた今後のホールの適正配置の検討にあたっての視点（案）

図中の点線赤囲みは、各ホールの利用者の50%が居住するエリア



分析結果のポイント①

川崎区や中原区、高津区の一部においては、比較的公共ホールが密集しているエリアがあるが、多摩区、宮前区、麻生区においては周辺に代替するホールが無いエリアも存在

分析結果のポイント②

利用用途によっては他の複数の施設へ容易にアクセスできるエリアが市域全体に広がっている可能性がある

今後の検討の視点案

更なる利用状況分析やホールが保有している機能の調査整理、利用者のヒアリング等を通じて、近接するホールが機能を補完する可能性の検討、今後整備予定の交通網を含めた交通アクセス手段の可能性検討などを行い、より一層の利用率の向上など効果的な利活用促進の可能性や、持続可能な施設運営に向けて維持管理コスト低減の可能性等について検討を進める。